2023年 ふくやま書道美術館催物案内　6月

日	曜
1	木
2	金
3	土
4	日
5	月
6	火
7	水
8	木
9	金
10	土
11	日
12	月
13	火
14	水
15	木
16	金
17	土
18	日
19	月
20	火
21	水
22	木
23	金
24	土
25	日
26	月
27	火
28	水
29	木
30	金

常設展示室・展示室

夏の所蔵品展Ⅰ

「The 屏風　― 開けば広がる小宇宙」

会期：2023年5月18日(木)～6月18日(日)

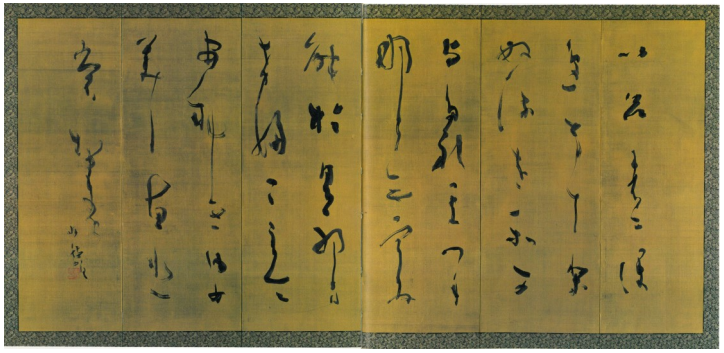
休館日：月曜休館

※5月26日(金)，27日(土)，6月2日(金)，3日(土)は夜間開館のため，午後7時まで開館します。

会　場：常設展示室・展示室

展覧会内容

風よけや部屋の仕切りとして用いられていた屏風は，日本でも近世には安土桃山時代から江戸時代にかけて金地のきらびやかなものがたくさん作られました。本展では，当館所蔵の池大雅，菅茶山など江戸時代のものから，桑田笹舟など現代作家の作品までを展観し，屏風の魅力を紹介します。



中室水穂《いろは歌》

19日(月)は休館日。20日は，展示替えのため休館

第70回福山市美術展覧会

会期：2023年6月21日(水)～7月2日(日)　［会期中展示替えあり］

前期：6月21日(水)～6月25日(日)　　後期：6月28日(水)～7月2日(日)

※月曜休館，6月27日(火)は前後期の展示替えの為休室。

第70回福山市美術展覧会に出品された書部門の内，招待作家の作品をふくやま書道美術館の常設展示室・展示室及び多目的室に展示いたします。

ちょこっと知ろう!屏風のいろは!?

「〇〇のいろは」というと，物事の初歩・基本の意味もありますね!今回の展覧会テーマは「屏風」です。屏風というのは，表具形式の一つで，その歴史は長く，中国で成立し，朝鮮半島を経由して7世紀ごろ日本に伝えられたとされています。ここでお伝えしたいのはもちろん!「屏風のいろは」ですが,屏風の歴史に注目するよりも，出品作品の「いろは」を見てほしいのです!

なんと本展では「いろは歌」という作品が４点出品されています!池大雅，桑田三舟，中室水穂，岡田研山が屏風に「いろは歌」を書いていますよ!「いろは歌」とは，「いろはにほへと…」と続く日本のひらがな47字を用いた手習い歌としてなじみがあります。しかしその手習い歌を書家はなぜ作品にするのでしょう?

実は…「いろはにほへとちりぬるを」って，意味が分からないひらがなの羅列では無いのです。その内容は，人生を花や夢に喩え，その移ろいやすさについての無常観を表わしています。そして，字形の異なる47字のひらがなが続くので，作家が作品として作風をあらゆる字で披露できる点が面白いですよね!「いろは歌」の内容の奥深さと，書表現の広がりを可能にできる点が，題材として魅力なのかもしれませんね。

会場全体!!できる限りパカーン!と「屏風」を開いていますよ☆

所蔵品展観覧料

一　般	１５０円　（１２０円）
高校生以下無料	

※(　)内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が**無料**です

- ■社会福祉施設に入所されている方
- ■福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方
  （運転免許証や健康手帳など、住所・年齢が確認できるものが必要）
- ■身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方，及びその介護者1名

※開館時間は午前9時３０分から午後5時までです。
※月曜日【　　の日】は休館日です。

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY
ふくやま書道美術館
〒720-0067　福山市西町二丁目4番3号
JR福山駅福山城口(北口)から西へ約400m　TEL084-925-9222
Webページ　www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/
電子メール　syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp